

単元名 大地の躍動と恵み(2分野 単元3－4章)
配当時間 4時間

単元の目標 (1) 大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連付けながら、地震の伝わり方と地球内部の働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解したり、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けたりすることができる。

(2) 地震について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性などを見いだし表現するなど、科学的に探究することができる。

(3) 地震に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

標準的な展開例

10240301_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 火山の噴火や地震によって起きる災害について考える。</p> <p>★火山の噴火や地震によって起きる災害について考えよう</p> <p>○火山が噴火した場合や地震が起きた場合、どのような被害が起きるか話し合う。</p> <p>○調べ学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 火山、地震のどちらについて調べるか決める。 調べる方法を考える。 <p>2～3 火山の噴火や地震によって起きる災害について調べ、起きる被害や被害を防ぐ方法についてまとめる。</p> <p>★火山の噴火や地震によって起きる災害について調べよう</p> <p>○調べ学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害の被害内容 災害発生の様子（時間的経過や地域の特性） 被害を防ぐための工夫 災害に備えて自分ができること <p>○調べた内容について話し合う。</p> <p>4 火山活動や地震によってもたらされている恩恵について考える。</p> <p>★火山活動や地震によってもたらされている恩恵について考えよう。</p> <p>○火山活動や地震によって、どのような恩恵を受けているか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温泉 景勝地 地熱発電 <p>○自然からは、災害による被害だけではなく、恩恵も受けていることを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P.210～P.211の写真を基に、いろいろな被害を想像させる。 住んでいる地域のハザードマップなどを提示するとよい。 <p>【評】火山の噴火や地震によって起きる被害について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 起きる被害や災害を防ぐ方法を調べることを知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用する。 自治体が公表しているハザードマップなどの防災情報を参考にさせる。 <p>【評】災害について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ発表、全体発表など、学級の実態に応じて発表させ、話し合わせる。 <p>【評】災害について調べてた内容について話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】火山活動や地震によって受けている恩恵について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 風水害についても同様であることを確認する

【 備 考 】

ここでは、自然は、美しい景観、住みよい環境などの恩恵をもたらしていることを調べさせ、自然が人々の豊かな生活に寄与していることに気付かせる。また、資料などを基に、火山活動や地震による災害について調べさせ、火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解させる。

火山活動による恩恵については、地形や景観、温泉、地熱などに触れることが考えられる。火山災害を扱う際は、例えば、ハザードマップなどから、集落や田畑、森林などに予想される被害を読み取る学習が考えられる。また、噴火警戒レベルを取り上げ、火山活動の状況から、人命に危険を及ぼす火山現象などを理解させることが考えられる。

地震災害を扱う際は、資料を基に地震によって生じた現象と被害の特徴との関係を整理させることが考えられる。例えば、津波については、その発生の基になる地震の規模や、震源の位置、沿岸の地形の特徴と被害の関係を整理させることが考えられる。

自然の恵み及び火山災害と地震災害を調べる場合は、例えば、大学などの防災研究機関、気象庁や地方の気象台などから情報入手することが考えられる。さらに、図書館、博物館、科学館、ジオパークなどを利用したり、空中写真や衛星画像、情報通信ネットワークを通して得られる多様な情報を活用したりすることが考えられる。